

# 今年度ヘルスケア学会年次大会でポスターセッション参加 誰も知らない配置の世界 配置販売業協会と置き薬協会が協働で

発行：日本置き薬協会 事務局

薬業界の一部の方々より、配置販売業参入の打診が最近あり、配置薬業界の現状と実態を理解して頂く機会と捉え、今年度ヘルスケア学会年次総会のポスターセッションに、配置薬販売協会（代表理事右近守氏）と置き薬協会（代表理事有馬純雄）が協働で出展することとなった。

一般消費者向けの展示は、富山県や市町村、富山県薬業連合会等が共催で「富山くすりフェア」を毎年3月、東京駅丸の内のKITTE イベント会場にて開催されている。その展示内容は、来場者の郷愁をそそる医薬品を中心として、配置薬の利便性とそれを支えてきた「三百年の歴史」、「先用後利」や「富山県の医薬品製造」等をテーマに展示説明されていた。

今回のポスターセッションには、配置薬の販売業務、配置薬の製造と流通、配置薬の法規、業界、業態等の「現状と実態」を具体的に紹介、説明する予定である。

配置薬の存在は承知されているものの、その現状と実態をあまりご存じない薬業界の方々向けの企画として、タイトルは「誰も知らない配置の世界」とした。

あのテレビ番組（マツコの知らない～）になぞれば、「配置の市場は全国で年間2,000億円」

「配置員の売上は月間平均約90万円で半分は医薬品以外」

「配置員の担当は90軒前後で、月間約300軒訪問する」

「配置販社売上ナンバーワンは富士薬品の300億円」

「従事者は都道府県知事の身分証明書を携帯しなくてはならず、二年間有効で8,700円（埼玉県）もする」、「配置従事者は全国に約15,000人いる」

「配置業界向けのサクロン、セルベール、パブロンSα、パファリン、龍角散ダイレクト、ベンザブロック咳止錠がある」。

記者、読者各位はこれらを御存じだろうか。以下、展示概要である。

会場 明治大学駿河台キャンパス 309C 教室

会期 平成30年9月7日（金）～8日（土）午前9時～午後5時



配置用のNB医薬品

- 配置薬の販売業務  
得意先での精算（ハンディターミナル、伝票）、商品管理、得意先管理、集計システム
- 配置薬販売会社順位とその規模
- 配置薬の業界組織
- 優良配置業者認定制度
- 配置薬の製造と流通  
配置薬メーカー一覧とその配置薬以外の製造分野、卸会社一覧
- 配置薬の法規  
配置販売業許可要件、従事者の身分証明書要件、従事届

本件に関するお問合せ先 **日本置き薬協会 事務局**

〒332-0034 埼玉県川口市並木2-30-6 内外救急薬品内

TEL 080-5514-7511（有馬） fax 048-251-9657

日 置 協